

水野 達朗 様

拝啓

初夏の候、水野先生におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は私どもの■■■■の復学に向けて、ひとかたならぬご高配を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年11月からの■■■■の不登校に際しまして、最初のうちは■■■■を責めつつも、いずれ時間が解決してくれるのではと安易な気持ちでおりましたが、事態は一向に変わず、ただ空しく時間だけが過ぎていくような状況でした。

さらに、お正月を暗い気持ちで迎える頃には、私も家内も精神的な疲労がピークを迎えていたのでしょうか、お互いの非を責めるなど、まったく出口の見えないトンネルに入り込んでしまったような状況でした。

しかし、家内が不慣れなインターネットの世界の中から先生のブログに辿り着けたこと、先生の御本を拝読させていただけたこと、さらに、直接ご指導をいただいたことを、私は、とても幸せに感じ、有り難く思っております。

現在、■■■■、■■■■両先生の温かいご指導のお陰もありまして、■■■■は毎朝登校しておりますが、その姿を見ていると、如何に私や家内が余計な行動・言動を行っていて、子供の気持ちを嫌な方向に向けていたのだと、つくづく感じました。

まだ、子供の生活態度を見て、つつい口うるさく言う、あるいは先に手を出しそうになることもあります。先生の御本の11カ条を書き出した自分用のメモを眺め、私自身も変わらねばと努力しているような状況です。

水野先生には、我々家族を救っていただきまして誠に有難うございました。まずは略儀ながら書面にて御礼申し上げます。

敬具

平成21年6月25日

■■■■